

# 2021年2月期 第3四半期連結決算の概要

2021年 1月 8日

ツインバード工業株式会社

証券コード： 6897

1. 2021年2月期 第3四半期決算の概要
2. 2021年2月期 業績予想について
3. FPSC（フリー・ピストン・スターリング・クーラー）事業の  
受注状況等に関するお知らせ

# 1. 2021年2月期 第3四半期決算の概要

## コロナ影響等で減収減益

売上高 前年同期比  $\Delta$  **5.7%**

営業損失  $\Delta$  **32** 百万円 (悪化)  
( $\Delta$ 175  $\rightarrow$   $\Delta$ 207 百万円)

## 収益性は大幅改善

売上総利益  
前年同期比 **+3.5pt**  
(26.5% $\rightarrow$ 30.0%)

## 財務体質改善

自己資本比率 前期末比 **+6.1pt**  
(54.6% $\rightarrow$ 60.7%)

- ✓ **新型コロナウイルスの影響で業務用家電等が減収**
  - ホテルや病院向け冷蔵庫や浴室テレビなど業務用家電は新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、需要低迷が継続
  - 量販チャンネルは一時期店舗の閉鎖による影響から第2四半期以降回復基調も厳しい状況継続
  - ポイントサービス市場やEC市場では巣ごもり家電需要が引き続き堅調
  - 新規販路拡大（ポイントサービス市場など）に伴う戦略的投資が増加
- ✓ **中期経営計画の主要施策効果で収益性（売上総利益率）が大幅改善**
  - SKU（商品管理点数）の戦略的削減と高収益商品への販売重点化等が収益性改善に貢献
  - 今後、SKUの戦略的削減は、商品企画の練度向上、開発効率・専門性向上、コストダウン、品質向上、在庫圧縮・倉庫保管費の削減など各機能に効果が波及
- ✓ **キャッシュマネジメント強化やエクイティ性資金調達により、十分な手元流動性確保、財務体質改善**
  - たな卸資産の徹底した効率化をはじめとした総資産の圧縮
  - 政策保有株式の圧縮策実行
  - 第3四半期末までに調達したエクイティ性資金（845百万円）も寄与

## 第3四半期累計 連結損益計算書



コロナ禍で家電量販やソリューションの売上が減少 売上総利益は予算未達も前年同期から改善傾向を継続  
 販管費は物流費や新規販路拡大に伴う戦略的投資等の増加で前年同期を超過、営業損益は損失拡大となる

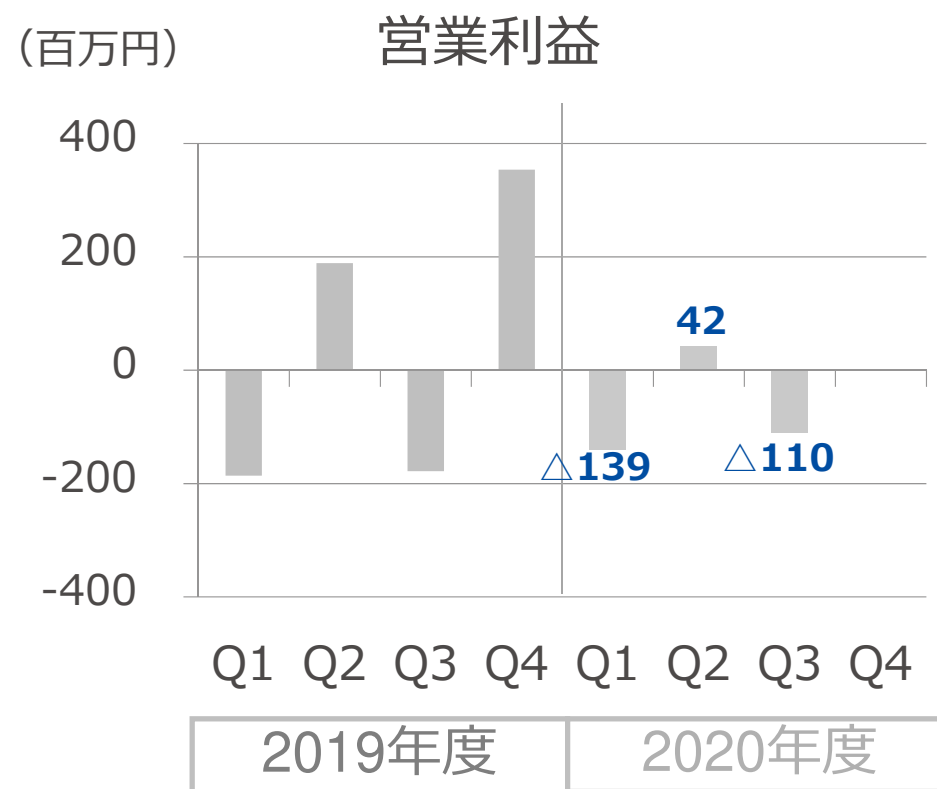
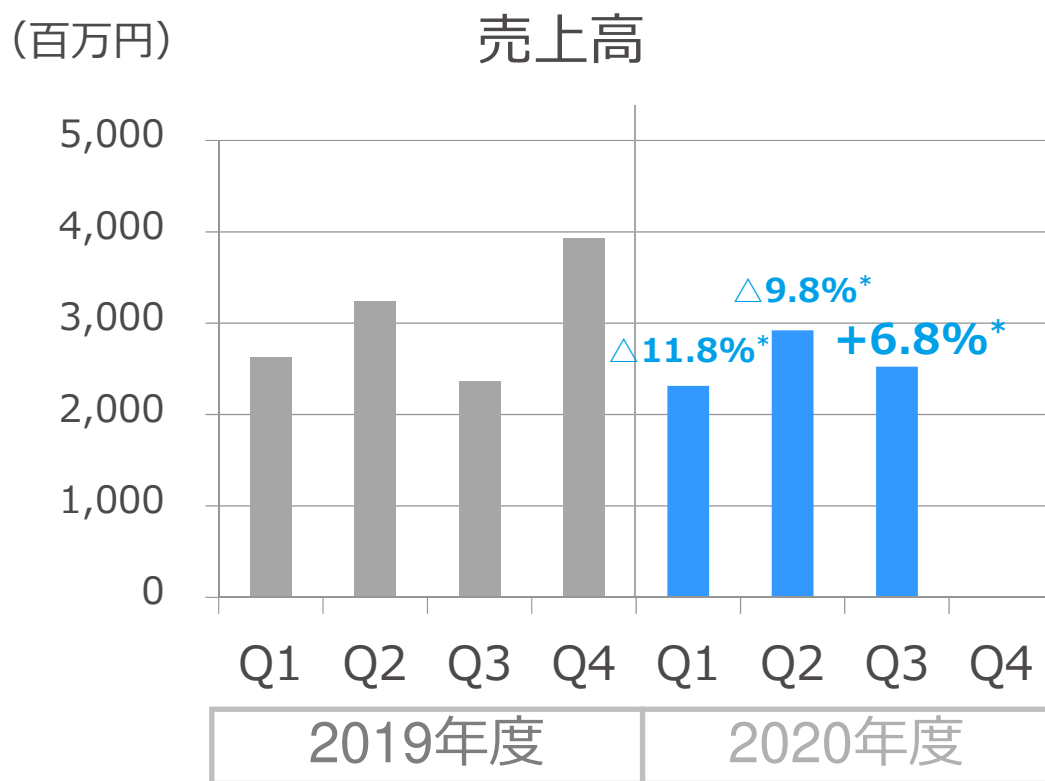
単位：百万円

|                                | 2020年度     | 2019年度     |             |       | (参考)<br>2019年度 |
|--------------------------------|------------|------------|-------------|-------|----------------|
|                                | 3Q累計<br>実績 | 3Q累計<br>実績 | 前年同期比<br>差額 | 成長率   |                |
| 純売上高                           | 7,762      | 8,229      | △466        | -5.7% | 12,159         |
| 売上総利益                          | 2,328      | 2,180      | 148         | 6.8%  | 3,505          |
| ／純売上高比                         | 30.0%      | 26.5%      | 3.5pt       |       | 28.8%          |
| 販売費及び一般管理費                     | 2,536      | 2,355      | 180         | 7.7%  | 3,326          |
| ／純売上高比                         | 32.7%      | 28.6%      | 4.1pt       |       | 27.4%          |
| 営業利益又は営業損失 (△)                 | △207       | △175       | △32         | -     | 178            |
| ／純売上高比                         | -2.7%      | -2.1%      | -           |       | 1.5%           |
| 経常利益又は経常損失 (△)                 | △309       | △265       | △44         | -     | 66             |
| 当期純利益又は当期純損失 (△)<br>(親会社株主帰属分) | △232       | △272       | 40          | -     | △133           |

## 四半期別業績概況

当第1、2四半期：量販店の一部閉店等などで減収 前2Qは消費増税前の駆け込み需要が売上に寄与

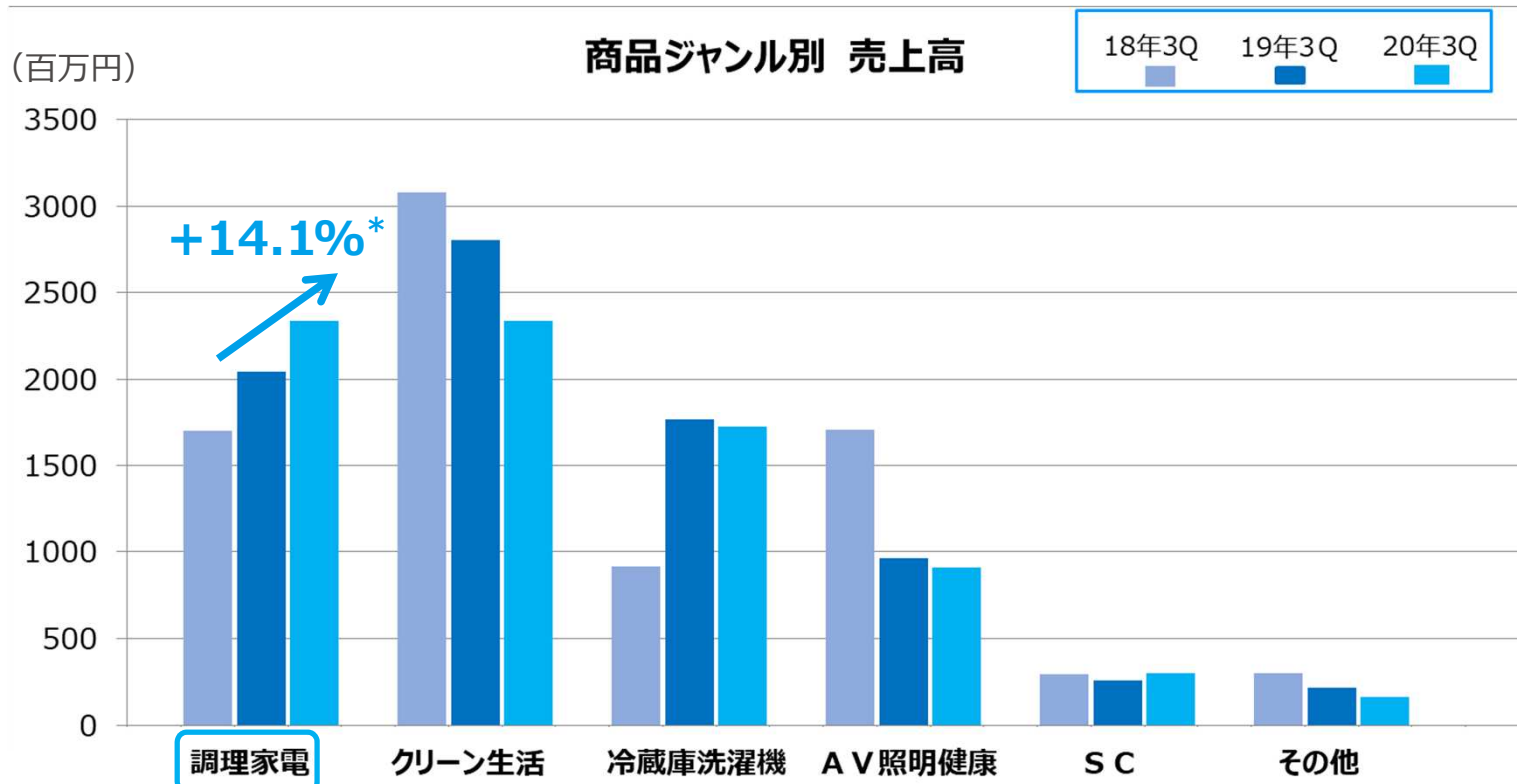
当第3四半期：前2Qは消費増税前駆け込み需要の反動減のため増収 業務用家電市場の需要低迷が継続



\* 前年同期比伸長率

# 第3四半期（累計）商品ジャンル別売上高

ポイントサービス市場やEC市場においては、巣ごもり家電需要が引き続き拡大  
ホームベーカリーやトースター、全自動コーヒーメーカーなどの調理家電が好調に推移



全自動  
コーヒーメーカー  
CM-D465B



センサー付  
フラット  
オープンレンジ  
DR-E857B



ミラーガラス  
オーブントースター  
TS-4047W



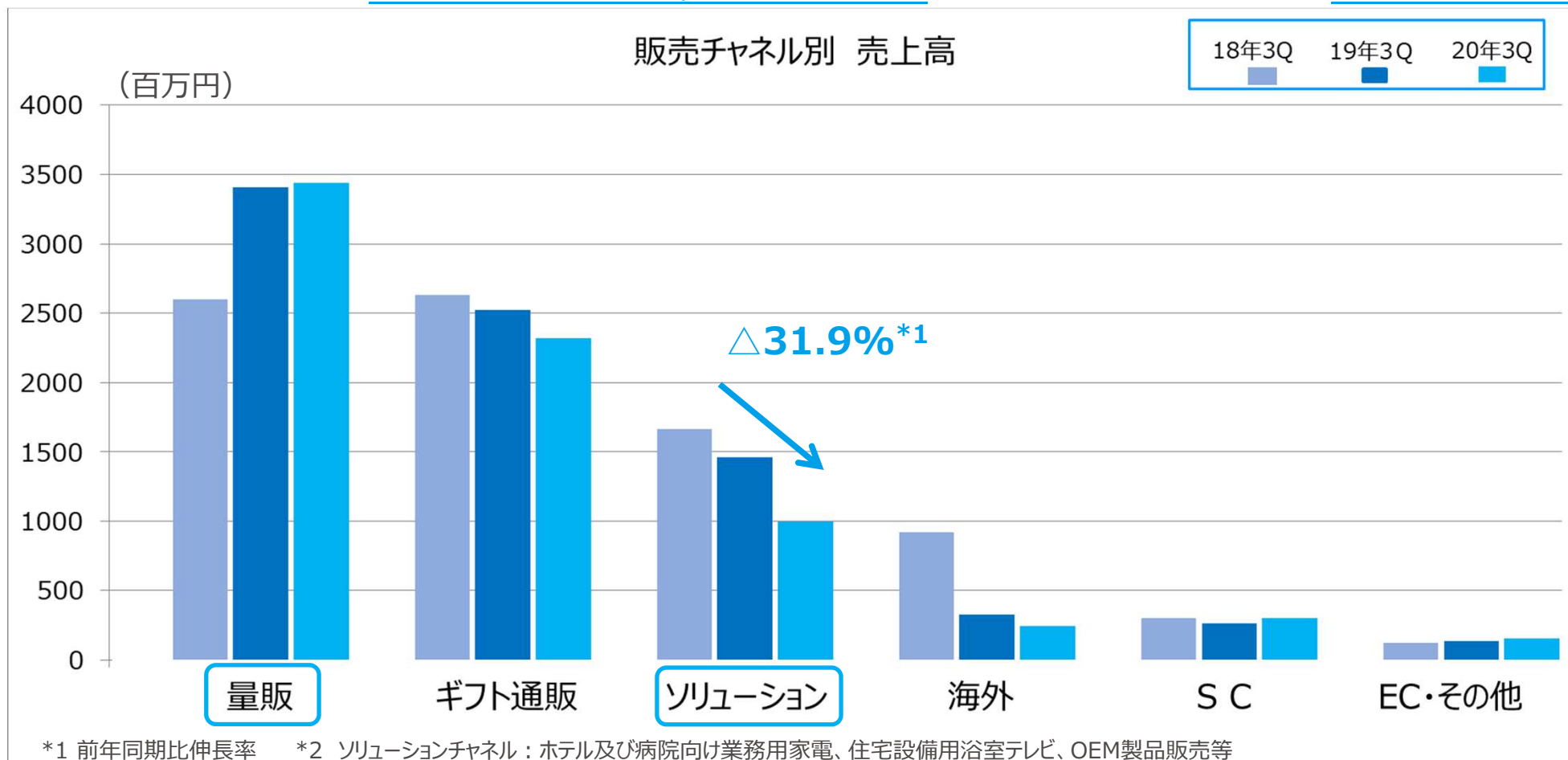
Take bran!  
ブレッドメーカー  
BM-EF36W

\* 前年同期比伸長率

## 第3四半期（累計）販売チャネル別売上高

家電量販チャネル： 当1Qは量販店の一部店舗が閉店などが影響 当2Q以降は回復も引き続き厳しい状況

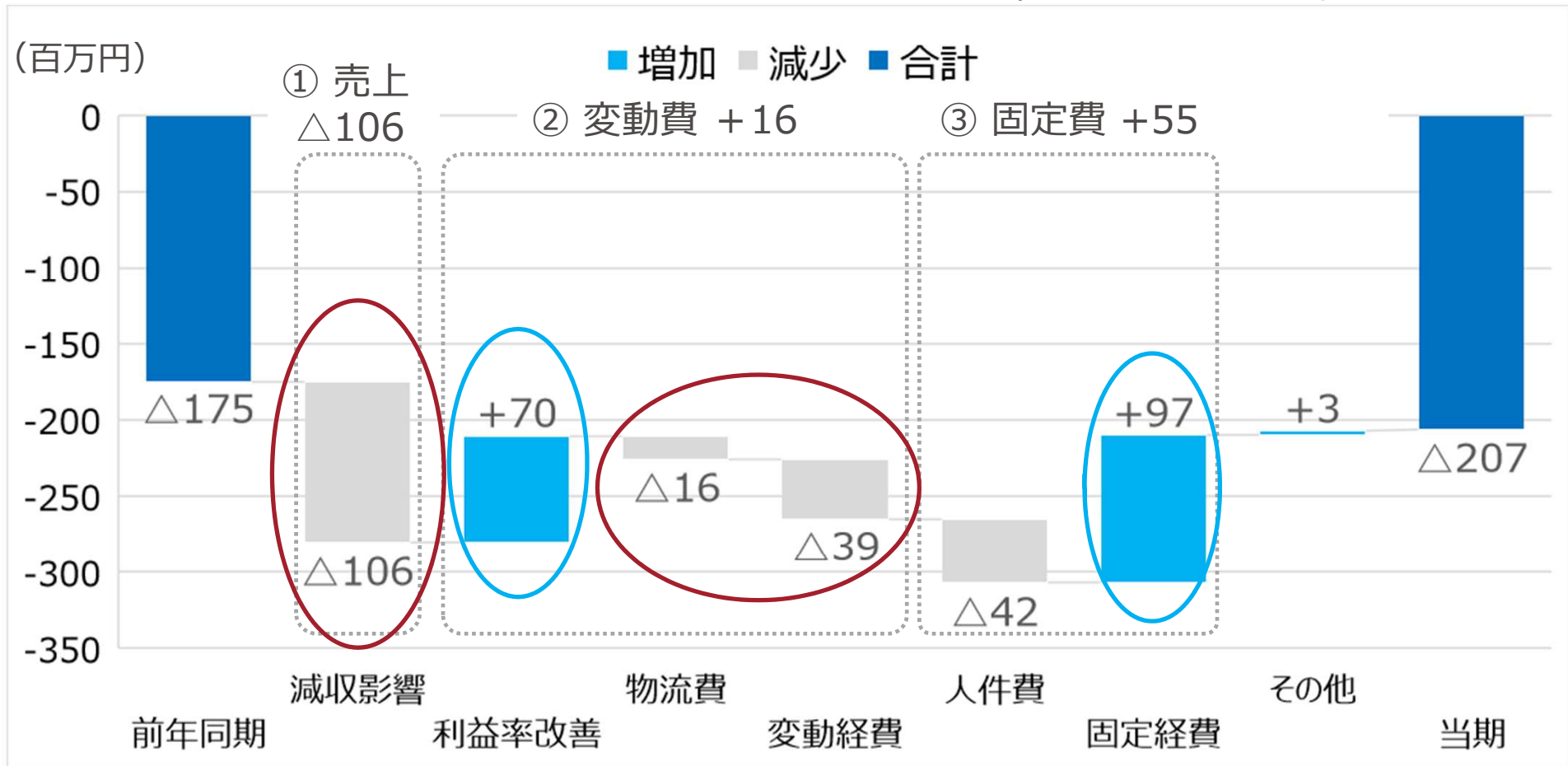
ソリューションチャネル<sup>\*2</sup>： ホテルや病院向けの業務用家電市場において、コロナ禍の影響で需要低迷が継続





# 第3四半期（累計）営業利益 前年同期比増減

高収益商品の販売重点化や前期低減効果で売上総利益率（粗利率）が改善  
 物流費や新規販路拡大に伴う戦略的投資が増加 旅費交通費や減価償却費等の固定経費が減少



## 連結貸借対照表



たな卸資産の圧縮、売上債権の減少、政策保有株式の処分などにより、総資産を圧縮かつ手元資金を確保  
エクイティ性資金調達を実行し純資産は増加 総資産圧縮効果により有利子負債を圧縮

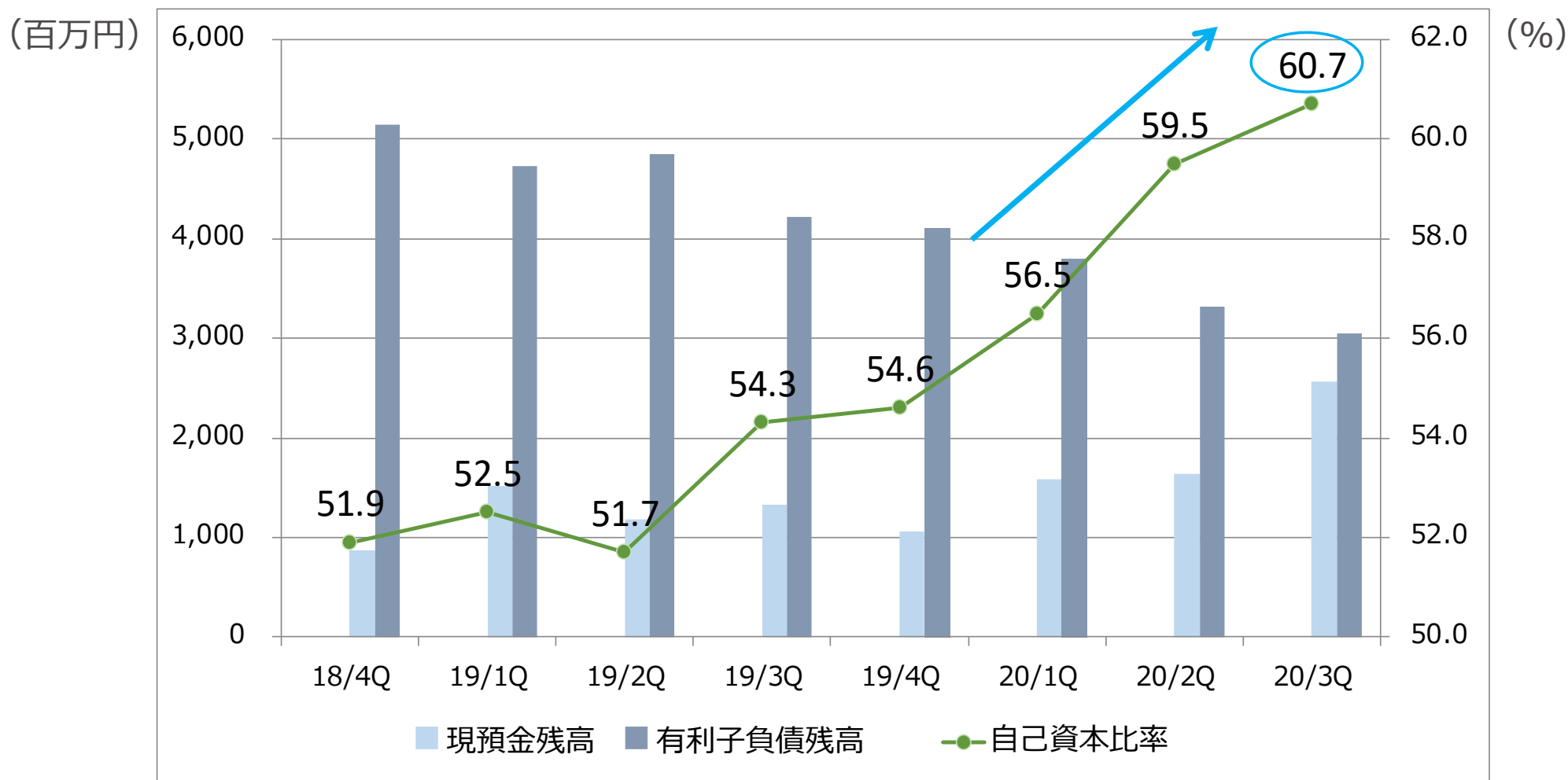
単位：百万円

|              | 3Q末           | 前期末           | 増減          |
|--------------|---------------|---------------|-------------|
| 現預金          | 2,562         | 1,066         | 1,496       |
| 売上債権         | 1,402         | 2,402         | △1,000      |
| たな卸資産        | 2,380         | 3,145         | △764        |
| その他          | 167           | 205           | △37         |
| 流動資産 計       | 6,512         | 6,819         | △306        |
| 有形固定資産       | 3,848         | 3,822         | 25          |
| 無形固定資産       | 293           | 296           | △2          |
| 投資その他資産      | 631           | 644           | △13         |
| 固定資産 計       | 4,772         | 4,763         | 9           |
| <b>資産 合計</b> | <b>11,285</b> | <b>11,582</b> | <b>△296</b> |

|                     | 3Q末           | 前期末           | 増減          |
|---------------------|---------------|---------------|-------------|
| 仕入債務                | 355           | 205           | 150         |
| 短期借入金               | 600           | 1,100         | △500        |
| 長期借入金               | 2,081         | 2,548         | △466        |
| その他                 | 1,400         | 1,406         | △5          |
| <b>負債 合計</b>        | <b>4,438</b>  | <b>5,259</b>  | <b>△821</b> |
| 資本金&資本剰余金           | 4,425         | 3,576         | 848         |
| 利益剰余金               | 2,548         | 2,877         | △328        |
| その他                 | △126          | △131          | 4           |
| <b>純資産合計</b>        | <b>6,847</b>  | <b>6,322</b>  | <b>524</b>  |
| <b>負債&amp;純資産合計</b> | <b>11,285</b> | <b>11,582</b> | <b>△296</b> |

# 財務安全性の推移

有利子負債残高は減少継続 自己資本比率は前期末より+6.1pt改善



## 2. 2021年2月期の業績予想について

## エグゼクティブ・サマリー②：通期業績予想



| (百万円) | 2018年度<br>実績 | 2019年度<br>実績 | 2020年度<br>当初業績予想<br>(中計初年度目標) | 2020年度<br>今回業績予想* | 前期差       | 前期比         |
|-------|--------------|--------------|-------------------------------|-------------------|-----------|-------------|
| 純売上高  | 11,625       | 12,159       | 12,200                        | 12,200～12,400     | +41～+241  | +0.3%～+2.0% |
| 営業利益  | 113          | 178          | 250                           | 320～430           | +142～+252 | 1.8倍～2.4倍   |
| 経常利益  | 57           | 66           | 130                           | 180～300           | +114～+234 | 2.7倍～4.5倍   |
| 当期純利益 | 18           | △133         | 60                            | 90～170            | +223～+303 | 黒字化         |

✓ 家電事業は新型コロナウイルスの影響で減収も収益性改善で増益確保

✓ FPSC事業の大型案件受注が貢献し、通期業績を押し上げる見込み

- 国内での新型コロナウイルス感染症ワクチンのコールドチェーン構築に向けて、モデルナ社ワクチン用ディープフリーザーの大型受注（5,000台）に関し、武田薬品工業株式会社と基本契約を締結
- 主要な取引先Global Cooling, Inc.（本社所在地：米国オハイオ州）より、当社製フリーザーボックス（部品供給）について2回目の追加受注（累計受注台数3,500台）
- 今後の国内外の需要増加に対応すべく生産能力の増強に注力。しかしながら、現時点で当期末（2021年2月末）までの出荷可能台数に不確定要素があるので、通期業績予想は上記レンジ内となる見込み



✓ 2021年2月期年間配当予想については直近の公表値（11円/株）から変更ありません

\* 2021年1月7日に政府より新型コロナウイルスに関する2回目の緊急事態宣言がおこなわれましたが、現時点ではその影響を合理的に見積もることは困難であるため、上記業績予想には織り込んでおりません。

- 家電事業につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が今後も続く予想され、家電量販市場やギフト通販市場におきましては堅調に推移するものの、**ホテルや病院向けの業務用家電市場の需要低迷が継続**するものと見込んでおります。
- そのため売上高は当初予想より減少する見込みではありますが、新中期経営計画（2020～2022年度）の主要施策である**収益性の高い商品への販売重点化等により売上総利益率は当初予想より改善**を見込んでおります。
- FPSC事業につきましては、本日付けで公表しております「FPSC（フリー・ピストン・スターリング・クーラー）事業の受注状況等に関するお知らせ」に記載いたしましたとおり、**武田薬品工業株式会社との基本契約締結による大型受注**、及び主要な取引先でありますGlobal Cooling, Inc.（本社所在地：米国オハイオ州）による2回目の追加受注を勘案し、**業績予想を上方修正**いたします。今後の国内外の需要増加に対応すべく生産能力の増強に注力しております。しかしながら、現時点で当期末（2021年2月末）までの出荷可能台数に不確定要素がありますので、**レンジ形式による業績予想数値として公表**いたします。
- なお、今回の業績予想の修正による**配当予想の修正はありません**。
- また2021年1月7日に政府より新型コロナウイルスに関する**2回目の緊急事態宣言がおこなわれましたが、現時点ではその影響を合理的に見積もることは困難であるため、本日修正しました業績予想には織り込んでおりません**。今後、開示すべき事象が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

# 2021年2月期 連結業績予想



当期末（2021年2月末）まで出荷可能台数に不確定要素があり、通期業績予想をレンジ形式にて修正

| (百万円)                             | 2020年度<br>3Q実績 | 2020年度<br>4Q見込 | 2020年度<br>業績予想         | 前回<br>公表値 | 前回公表値との<br>差額   | 前回公表値からの<br>増加率         |
|-----------------------------------|----------------|----------------|------------------------|-----------|-----------------|-------------------------|
| <b>純売上高</b>                       | 7,762          | 4,437 ~ 4,637  | <b>12,200 ~ 12,400</b> | 12,200    | ±0 ~ +200       | 0.0% ~ +1.6%<br>→ ほぼ横ばい |
| <b>営業利益又は営業損失</b>                 | △ 207          | 527 ~ 637      | <b>320 ~ 430</b>       | 250       | +70 ~ +180      | +28% ~ +72%             |
| 営業利益率                             | △2.7%          | 11.9% 13.8%    | <b>2.6% 3.5%</b>       | 2.0%      | +0.6 pt +1.5 pt |                         |
| <b>経常利益又は経常損失</b>                 | △ 309          | 489 ~ 609      | <b>180 ~ 300</b>       | 130       | +50 ~ +170      | +38% ~ +131%            |
| <b>当期純利益又は当期純損失</b><br>(親会社株主帰属分) | △ 232          | 322 ~ 402      | <b>90 ~ 170</b>        | 60        | +30 ~ +110      | +50% ~ +183%            |

収益性改善

※ 2021年1月7日に政府より新型コロナウイルスに関する2回目の緊急事態宣言がおこなわれましたが、現時点ではその影響を合理的に見積もることは困難であるため、上記業績予想には織り込んでおりません。今後、開示すべき事象が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

### 3. FPSC（フリー・ピストン・スターリング・クーラー）事業の 受注状況等に関するお知らせ



## 1. 当社FPSC事業における現在の受注状況について

- ① 武田薬品工業株式会社と当社との間で当社製SC-DF25WL（モデルナ社の新型コロナウイルス感染症ワクチン用ディープフリーザー）について以下の通り基本契約を締結いたしました。

|       |   |
|-------|---|
| 品番    | SC-DF25WL（モデルナ社の新型コロナウイルス感染症ワクチン用ディープフリーザー） |
| 台数    | 5,000台                                      |
| 納期    | 2021年2月～2021年4月予定                           |
| 仕様    | 当社標準品SC-DF25ベース（温度表示切替、ワクチン固定ワイヤー及び温度ロガー付）  |
| 管理温度帯 | +10℃～-40℃（1℃刻みの温度設定）                        |

SC-DF25WL（モデルナ社の新型コロナウイルス感染症ワクチン用ディープフリーザー）は、武田/モデルナ社ワクチンの国内における医療機関等への輸送・保管用として使用されます。

- ② 主要な取引先でありますGlobal Cooling, Inc.（本社所在地：米国オハイオ州）より、当社製フリーザーボックス（部品供給）について、2020年10月23日開示の受注状況に関して以下の通り2回目の追加受注をいたしました。

部品品番 SC-DF25ENC GGR（極低温保冷用容器）

台数 2,500台

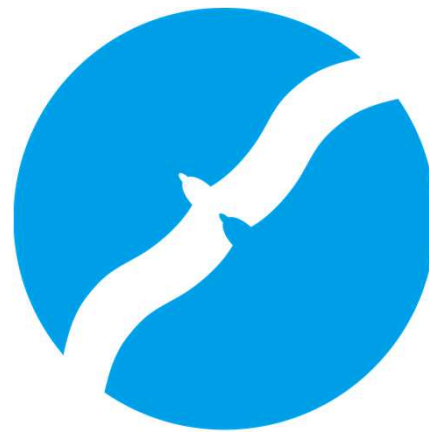
累計受注台数 3,500 台

（2020年10月23日開示の新型コロナウイルス感染症ワクチン輸送・保管用としての初回受注1,000台を含む）

納期 2021年1月～2021年4月予定

仕様 当社標準品SC-DF25と同じ極低温保冷用容器（冷却エンジン除く）

Global Cooling, Inc.は、当社工場で製造した極低温保冷用容器（SC-DF25ENC GGR）に同社の冷却エンジンを組み込み、Portable ultra-low temperature freezer（ULT25NEU）として製品化します。この製品は、米国におけるバイオ医薬品の輸送と保管、そして最近では薬局、診療所、病院、地域の保健機関向けの新型コロナウイルス感染症ワクチンの輸送と保管に使用されます。



# TWINBIRD

I Rに関するお問い合わせ先

ツインバード工業株式会社 執行役員 経営企画本部 本部長 小林 和則 (TEL : 0256-92-6111)

決算に関するお問い合わせ先

ツインバード工業株式会社 最高財務責任者 執行役員 管理本部 本部長 高木 哲也 (TEL : 0256-92-6111)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する意見や予測等は、資料作成時点で一般に認識されている経済・社会等の情勢及び、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されており、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更される可能性があります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。

©2020 TWINBIRD CORPORATION All rights reserved.